

せいしょう 青翔

第193号

◆青年部ニュース◆ 発行 北大阪商工会議所 青年部 広報委員会

<http://www.kitaosaka-cci.go.jp/yeg/>

翔

平成27年度 総務委員会報告書

総務委員会 委員長 城岡 諭

本年、総務委員会では日本YEGの中でも十指に入るほどの会員数となった北大阪YEGの組織基盤の構築と組織運営の効率化を念頭におき、組織強化の率先垂範となる委員会運営を目指してまいりました。年間を通して、近年より取り入れられた電子会議の推進を理事会等諸会議で運営出来たのではないかと感じております。これも偏に理事構成メンバーの皆様のご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

本年度最初の事業である定時総会では、外村会長の素晴らしい挨拶からはじまり、木崎議長の緊張をほぐしていただいた素晴らしい議事進行のお陰で、平成27年度のスタートにふさわしい厳粛な総会がおこなえたのではないかと感じております。また、定時総会懇親会では、おもてなしの心で来賓並びにOB会・卒業生の皆様を迎えられたのではないかと思います。それも、正副・監事・顧問・室長の皆様に各テーブルに分かれて間に座つ

ていただいたことで、『目配り・気配り・心配り』の精神をもってお迎え、そして十分なおもてなしが出来たのではないかと感じております。歓談の最中来賓の方から北大阪YEGの総会懇親会は素晴らしいとお褒めのお言葉もいただき、対外に向けても北大阪YEGの今年度の方角性を十分示すことが出来たものと感じております。

1月度例会(新春例会)では、新年に相応しい設えで参加された皆様と新春の喜びを分かち合いながら、会員同士の結束を深めることが出来たと考えます。開催1週間前には50名に満たない参加人数を理事会構成メンバーをはじめメンバー皆様にご協力をいただいたお陰で無事盛會に終えることが出来たことに重ね重ね感謝申し上げます。

結びに、組織の基礎であり「扇の要」である総務委員長に私を選んでいただきました外村会長はじめ正副執行部の皆様。また、私を陰ながら支えていただきました西森専務・船曳室長・委員会メンバーの皆様へ感謝申し上げます。委員会報告とさせていただきます。



平成27年度 地域産業活性化委員会報告書

地域産業活性化委員会 委員長 谷 友博

①摂南大学・北大阪YEG産学交流事業 ～すべては未来の担い手のために～

学生の皆さんの人生には、これから無限の可能性があり、その可能性を切り拓くために我々青年部メンバーの思いが少しでも力になればとの一心でこの産学交流事業に取り組んでまいりました。

この交流事業を通して、学生の皆さんが夢を持ち、それが目標にかわりその原動力が未来を切り拓く力となってくれることを切に願っております。

②新たな地域産業活性化事業の調査・探求 ～北大阪地域活性化の可能性を求めて～

阪南市における情報発信基地としての駅ナカ施設、忠岡町における産学のコラボレーションによる事業キャラクター、和泉市における和泉ブランディングの構築などの各自治体の取り組みは、北大阪地域への応用の可能性を見出すことができました。

また農協等地元諸団体の取り組みは、地元地域に対する思い入れや郷土愛を感じることができ、昨今の健康志向ブームや若手市場のマーケティング分析による創意工夫により、地元農産物、伝統産業等を軸とした地域産業活性化の可能性を見出すことができました。

③11月度例会 ～信念そして絆 もう一度みつめよう…人と人のつながりを～

森脇健児先生の「決して諦めないという堅固の精神」そして「人と人のつながりの大切さ」への熱い情熱が、メンバー同士のさらなる絆を深め、これからのYEG活動、事業活動に邁進し、改めて家族や地域との絆を見つめなおし、人生形成の一助になることを願ってやみません。

最後に ～走った距離は嘘をつかない、流した汗は裏切らない～

わたしたち委員会メンバーが流した汗は嘘をつきません。長期的展望において、必ずこの委員会事業の目的が達成されるものと信じております。本当にありがとうございました。



平成27年度 ビジネス活性委員会報告書

ビジネス活性委員会 委員長 林 幸信

昨今のめまぐるしく変化するビジネス環境において「今を繰り返す」のではなく、時代に即した柔軟なスキルを我々メンバー自身も身につけていかなければいけません。

それにはまず、時代が変わったことにしっかりと気づかなければ始まりません。その上でビジネスへの弛まぬ挑戦を失敗を恐れることなく勇気と勝算を持って行動に移せる青年経済人となることが重要と考えます。

当ビジネス活性委員会では、5月と9月の二度に渡った例会を通じてメンバー自身の時代に即したビジネス活性の学びと、組織内においても本来ある組織のポテンシャルを活かせるための本会と事務局の方々とのビジネスの交流を活性出来るきっかけとなる事業を開催させていただきました。まずは部会という組織体制をしっかりと

と動くようにし、青年部のくくりだけではなく、本会会員の大勢の方々ともより多くビジネスを繰り広げられるように企画・運営いたしました。

この二つの例会は、今後組織が時代に即して大きく舵を切っていくための大きな歩みの第一歩としなければいけません。今後、さらに深く次年度以降、またそれ以降もしっかりと引き継いで、さらに沢山のメンバーと多くの機会を通じてビジネスでも手を組みYEGのスケールメリットを活かして、メンバー自身の会社も強い経営基盤を築くことが組織の発展・地域経済の活性にも繋がります。

当ビジネス活性委員会としてこのような大きなチャンスをいただいたことに大変うれしく思い、また事業開催に至るまでの本当に沢山の皆様の多大なるお力添えに感謝いたします。ありがとうございました。



平成27年度 会員拡大委員会報告書

会員拡大委員会 委員長 宮下利一

会員拡大委員会の事業の中では、新入会員向けに開催しました年2回の新入会員向けオリエンテーションが特に効果があった事業だと思われまます。新事業のため右往左往したところもありますが、入会された新入会員の方々にYEG入会の意義と活動のきっかけの一助になった事業にできたと感じております。オリエンテーションといっても、よくある講義形式だけではなく、演劇を通じたワークショップを取り入れました。YEG組織の概要説明に加え、新たな世界に飛び込んだメンバーさんが積極的に自己表現できるきっかけとして上手く機能したと思います。オリエンテーション後、私自身も新入会員さんの知り合いが増えましたが、新入会員さん自らが数多くの事業に参加する事により、会員同士の交流が広がっていき、用意していた名刺が足りないという声も頻繁にきく事ができました。会員拡大委員会なので、入会希望者に案内を行いました。紹介者が入会して間がな

い新入会員さんという事も多かった事も特徴の一つとしてあげる事ができます。

会員拡大委員会が新入会員さんを拡大したのではなく、既存のメンバーをはじめ、YEGに関わる方々に新入会員さんを拡大していただきました。皆様の多大なご協力なくしては、全ての事業は開催できなかったと思われまます。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



平成27年度 事務局報告書

事務局次長 牧野 博

26年度は副委員長を務めさせていただき、本年度も理事として事務局次長を仰せつかり前年とは少し違う立場で理事会に参加させていただき、1年を通じて多くの気づきや学び、様々な意見、各委員長の考えを聞き、多くの仲間と楽しく有意義な1年を過ごすことができました。

事務局ってなにを行うのか、検証から始まり立ち上げ当初など、茂木事務局長は本当に苦労したと思います。会則規定の検証、改定案の提出、財務運営などYEGの仕組みを理解してなくてはできないことが多く、理解することから始めましたが、様々な経験や、多種多様な職業のメンバーが集う組織構成だからこそ、誰かが知恵を出し建設的な意見交換をし、創り上げることができまし

た。月に一度の事務局会議もほとんどが、各諸事業の会計審査となり事務局として各事業をスムーズに進めていただけるよう精査を行い、各委員会事業の構築を違う立場で見ることができ貴重な経験となりました。

同じ会費を払っているのなら理事を経験し沢山の意見を聞き、学びや沢山の仲間を作らないとYEGに入っている意味がない。と年度始まりにはよく耳にしました。まだまだ、学び足りないところはありますが、僕のご事は十分すぎるほど覚えていただいたと思います。

次年度も引き続き事務局担当となりますが、本年の経験を活かし、YEGの仕組みや運営を理解していきたいと思ひます。

素晴らしい時間をありがとうございました。